
日本で初めて単板・合板メーカーとして「再エネ100宣言 RE Action（アールイー・アクション）」に参加

～創業85周年を迎えて、よりサステナブルな製品作りにコミット～

当社は、2021年11月30日、2050年までに使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する取り組みを行う枠組み「再エネ100宣言 RE Action」に参加致しました。



再エネ100宣言 RE Actionとは、企業や自治体などの団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。参加企業は2050年迄に使用電力を100%再エネに転換する目標を設定しそれに向けての取り組みを行います。

当社では、2021年で85周年を迎え、サステナブルな循環型資源である木材を主原料とした合板メーカーとして「多品種少量生産による、高品質で高精度な製品づくりと一歩先を見据えた、無駄のない資源の有効活用」を企業理念に掲げ「Paper-Wood」や「ecoシラ合板」など環境配慮を意識した新しい製品開発を行ってまいりました。今般ウッドショックなどにより国産材の需要が高まってきた現在、木材（国産材）の有効活用や理解の醸成、業界の発展をより一層加速させるため、2030年までに国内の拠点の再エネ率100%を目指します。

再エネ100宣言RE Actionについて詳しくはこちらをご確認ください。

<https://saiene.jp/>

【滝澤ベニヤ株式会社 会社概要】

商号 : 滝澤ベニヤ株式会社
所在地 : 北海道芦別市野花南1000番地
代表者 : 代表取締役 滝澤量久
設立 : 1936年8月
業務内容 : 国産材を主とした単板・合板製造
会社HP : <https://www.takizawaveneer.co.jp>

【環境に配慮した当社の製品・取り組み】

■Paper-Wood/ペーパーウッド

「Paper-Wood」は色再生紙を木単板の間にはさみこんで生まれた新しい合板です。木口断面に現れるストライプは、これまでの合板にはないカラフルで美しい表情を持っています。

北海道の間伐材・小径材を有効活用し、環境に配慮するとともに、接着剤にもこだわり、ホルマリンなどのVOC対象物質14物質を含まない安全・安心なものを使用しています。

2010年にGood Design Awardを受賞。



 GOOD DESIGN AWARD 2010

■ecoシラ合板/Shirakaba Ecology Plywood



ほとんど利用されずにいた「白樺間伐材」を有効利用しています。広葉樹の中で、蓄積量が唯一増加している白樺は、成長も早いので、計画的に伐採を行えば、半永久的に使える資源であり、製品を販売した利益を山に還元する活動を行うことで「長期循環型資源活用」を可能にしました。接着剤にもこだわり、ホルマリンなどのVOC対象物質14物質を含まない安全・安心なものを使用しております。

■バイオマスボイラーの使用

重油などの化石燃料使わず、製品の製造時に出た、端材・木屑などを使ったボイラーを使用して単板製品の製造を行なっています。

■参考

「PLYWOOD laboratory」 <https://www.plywoodlaboratory.jp>



PLYWOOD laboratoryは滝澤ベニヤによる合板プロダクトのファクトリーブランドです。2009年に独自に開発した「Paper-Wood」を主な材料とし、日本有数の家具産地である旭川において、高い木工技術で丁寧に製造されています。「Paper-Wood」はカラフルで美しい木口断面を持つ合板で、断面は色再生紙と北海道産の木材を貼り合わせるというイノベーションによって生まれました。

国内外で活躍するクリエイターによる新しいデザイン、他の材料にはない魅力的な表情、北海道の中で材料生産と加工が完結している産地のポテンシャル。これらによりPLYWOOD laboratoryは、他のどこにもない素晴らしく魅力的なプロダクトを発信しています。